

姉妹都市締結記念 富山県黒部市 「大崎市民親善訪問団」参加者を募集します

大崎市は、富山県の黒部市と、大崎市誕生後初めてとなる姉妹都市締結を行います。11月5日(金)に開催予定の姉妹都市締結調印式に参加する「大崎市民親善訪問団」参加者を募集します。

📞 観光交流課交流担当 ☎23-7097

- 旅行期間** 11月5日(金)～7日(日)
- 内容** 姉妹都市締結調印式、黒部市市制施行15周年記念式典出席、YKKセンターパーク見学ほか
- 定員** 15人程度(応募多数の場合は抽選)
- 料金** 一人 9万円程度(交通費・宿泊費・食事代含む)
- 募集期間** 10月1日(金)～15日(金) 17時
- 申込方法** 観光交流課、各総合支所地域振興課に備え付けの申込書に、必要事項を記入し、観光交流課(古川七日町1番1号)に送付するか持参、または市ウェブサイトに掲載の申し込みフォームで申し込み
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、中止する場合があります。

①黒部峡谷を走る
トロッキ電車②黒
部漁港と北アルプ
ス連邦



姉妹都市締結について

大崎市と富山県黒部市は、YKKグループ企業が立地する縁で40年以上交流が続いており、黒部市から大崎市へ移住・定住された人も多くいます。また、東日本大震災や令和元年東日本台風の際には、YKKグループや黒部市から多くの支援がありました。

昨年10月には、「災害時等における相互応援に関する協定」を締結し、お互いの市の物産フェアを開催するなど、より交流が深まり、大崎市、黒部市の両市が合併15周年を迎える今年、姉妹都市締結を行うこととなりました。

天地人

未来への羅針盤

市長コラム

未だコロナとの闘いは続いており、大崎耕土に豊穡の秋が訪れました。皆様も食卓で新米を堪能されておられることと感謝いたします。

しかし、コロナの影響で業務用米の需要が落ち込み、米価は急落し生産者は落胆しております。

持続可能な再生産につなげるためにも、セーフティーネットや、消費拡大と販売促進に力を入れてまいります。

さて、混沌の中、市民の暮らしやまちづくりの方向性を定め、大崎市の今後5年、10年先の姿を見極め、その実現に向けた取り組みを推進するための重要計画を策定中です。

大崎市総合計画(後期計画)、産業振興計画(後期計画)、都市計画マスタープランの見直しです。

人口減少・超高齢化、自然災害の頻発・激甚化、Wit hコロナ(コロナとともに)

・Afterコロナ(コロナのあと)、SDGs、DX、カーボンニュートラル等、社会・経済情勢や生活環境の変化への対応、世界農業遺産に認定された強みを生かすまちづくり等を視点として大幅に見直し中です。

市民意識調査や庁内議論、審議会の議論を経て、それぞれ素案がまとまり、現在、パブリックコメントを実施中であり、また今後は住民説明会を開催してまいります。

先行き不透明な時代だからこそ、本市の豊かな資源を生かし、安全で笑顔あふれるまちづくりを描き、実現していくための協働活動にぜひご参加ください。お待ちしております！

豊穡感謝！
祈コロナ収束！



大崎市長 平藤康志

オワ オン サ キ ミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.18

第1回全国農泊ネットワーク
宮城大崎大会が開催されました

📞 世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281



▲あいさつをする
郷古雅春実行委員長
▲オンラインによる
パネリストの総合討
論

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、世界農業遺産「大崎耕土」の地域資源を活かした農山漁村滞在型の旅行「農泊」による、新たなツーリズムを推進しています。

9月5日、「第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」が、大崎地域における農泊への理解の深化と全国の実践者などのネットワークづくりの場を提供することを目的に開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催となりましたが、全国から300名以上が参加し、先進的な取り組み事例の紹介や、分科会ごとに活発な意見交換が行われました。特に、第3分科会では、「世界農業遺産の保全活用とツーリズム」をテーマに、全国の農業遺産地域の実践者などとの交流を深めました。

本大会の様子は、市ウェブサイトで紹介する予定です。詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。

▶市ウェブサイト QRコード



大崎耕土ウェブサイト
OSAKI KOUDO Website



パワ崎さんの食育コラム

その5

「もったいない」が合言葉！
食品ロスについてみんなで
考えよう！



📞 世界農業遺産推進課 ☎23-2281

みんなは「食品ロス」って知っているかな？「食品ロス」とは、食べられるもののに捨てられてしまう食品のことを言うんだよ。無駄だけでなく、環境にも悪い影響を与えてしまうんだ！

食品ロス削減に取り組んでいる大崎市食育推進協議会委員のウジエスパーでは、消費期限が短くなった商品を価格を下げて販売したり、売れ残りや賞味期限切れの食品を工場で分解

し、発酵して肥料にしたりしているんだ。今後は、お店にカフェを併設し、店内の商品を使ったメニューを提供して食品ロスを防いでいこうとしているよ！

みんなのお家では、食材を買いすぎないように、「どこに」「何が」「どのくらいあるのか」を把握して、冷蔵庫の収納率を7割にしておくといいね。

「もったいない」を合言葉に、みんなで食品ロスを防いでいこうね！

広報おおさき 10月号 2021 No.187

Main Contents

目次

- 04 新型コロナウイルスワクチン接種情報
- 07 幼稚園入園募集
- 08 保育所入所募集
- 09 放課後児童クラブ募集
- 10 鳴子総合支所庁舎等複合施設完成
- 12 市職員の給与
- 13 市職員を募集します
- 14 Osaki Culture
- 15 オオサキプレイガイド
- くらしの情報
- 18 第2次大崎市空家等対策計画(案)への意見を募集します ほか
- 28 子育て支援情報
- 29 育児相談・乳幼児健診
- 30 相談コーナー
- 31 休日救急当番医 ほか
- 32 全国中学校体育大会出場中学校紹介